

## はじめに

大野市は、日本百名山の「荒島岳」など雄大な山々や、名水百選に選ばれた「御清水」に代表される美しい湧水など、緑と水の豊かな自然に恵まれたまちです。先人たちは、これらの自然を大切に守り育ててきました。



私たちが深い恩恵を受けてきたこの自然環境は、近年、多くの困難に直面しています。経済成長と技術革新により生活は豊かで便利になった一方、身近な自然は減少し、水や化石燃料などの資源は大量に消費されてきました。その結果、地球温暖化が進み、これが原因と考えられる自然災害が頻発していることから、世界各国が、気候変動対策に取り組み始めています。

また、進行する人口減少や少子化、高齢化などの社会問題が、里地里山の荒廃などの環境問題につながっています。本市の豊かな自然環境と、その上に成り立つ快適な生活環境を将来の世代に引き継ぐため、これまでの生活を見直し、持続的な発展が可能なまちへの転換が求められています。

このような中、本市は、良好な環境の保全について将来の目標と方針を示すため、議論と検討を重ね、第三期大野市環境基本計画を策定しました。

新しい環境基本計画では、SDGsの考えを取り入れつつ、地球温暖化につながる温室効果ガスの削減はもとより、廃プラスチックや食品ロスの削減など、新たな課題について重点的に取り組むこととしています。

今後は、さらなる水循環の健全化に取り組む計画として本年2月に策定した「大野市水循環基本計画」とともに、「水循環共生都市 越前おおの」の実現を目指していきます。

環境問題は、市民の皆さまの生活に直結するとても重要な問題です。具体的な取り組みを計画に掲げていますので、市だけでなく、市民、事業者の皆さまとともに実践していきましょう。

最後に、本計画の策定に際し、御尽力をいただきました大野市環境保全対策審議会と大野市廃棄物減量等推進審議会の委員の皆さまをはじめ、多くの貴重な御意見をお寄せいただきました市民の皆さまや関係各位に心より感謝申し上げます。

令和3年3月

大野市長

石山志保